

ボッチャは、ヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障害者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目です。 ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのカラーボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。 障害によりボールを投げることができなくても、勾配具(ランプス)を使い、自分の意思を介助者に伝えることができれば参加できます。

ゲーム方法

1. コイントスで先攻後攻を決め、先攻サイド(赤)がジャックボールをコートに投げ入れます。(ジャックボールがジャックボール無効ゾーンに止まった場合は、相手側にジャックボールを投げる権利が移ります。)
2. 続けてジャックボールを投げた選手が最初のカラーボールを投げます。
3. 次に相手側のサイド(青)がカラーボールを投げます。
4. それ以降は、ジャックボールより遠い距離にあるカラーボールの側がボールを投げます。赤・青どちらが遠い距離にあるかは審判が判断し、選手に指示板で伝えます。
5. 両チームがすべてのカラーボールを投げ終わった時点で1エンド終了し、得点をつけます。

得点の数え方

- ジャックボールに一番近い相手のカラーボールよりも、さらに近い位置にある自分のカラーボールが、それぞれのボールにつき1点となります。
- 異なった色の2個以上のカラーボールがジャックボールから一番近い位置に等距離にあった場合は、各ボールにつき1点となります。



☆細かいルールは当日の審判にお任せください。

コート

競技は、12.5m×6mのコートで行われます。選手は2.5m×1mのスローイングボックス内でプレーをします。チーム戦ではボックス①～⑥(①③⑤が赤、②④⑥が青)を使用します。

